

令和7年度第2回 狭山ニュータウン地区再生連絡協議会 議事要旨

■開催日時：令和8年3月25日（水） 午前10時00分～

■開催場所：大阪狭山市役所 3階 第一会議室

■出席者：委員：久会長、加我副会長、金谷委員、山口委員、浅野委員、吾妻委員、菊屋委員、田中委員、中嶋委員、疋田委員、松本委員、小森委員、芝辻委員、中田委員、遠藤委員、竹田委員
関係者：北原課長（大和ハウス工業株式会社 堺支店 流通店舗営業所 営業課）
事務局：市長、田中副市長、楠副市長、政策推進部長、総務部長、健康福祉部長、市民生活部長、まちづくり推進部長、水政策部長、教育部長、こども政策部長、政策推進部兼まちづくり推進部理事、政策推進部次長、政策推進部次長兼企画・情報政策G課長、まちづくり拠点整備推進室長、企画・情報政策G課長補佐、企画・情報政策G主査、都市政策G主査

■議 事：

- ①狭山ニュータウン地区再生にかかる令和7年度取組みの進捗状況及び令和8年度取組みの予定について
- ②「狭山ニュータウン地区の再生・活性化に関するアンケート」の結果及び「狭山ニュータウン地区再生推進計画」の更新（案）について

■報告事項：

- ①近畿大学病院等移転跡地にかかる事業進捗状況について
- ②府営狭山住宅集約建替にかかる事業進捗状況について

■配布資料：

- ・資料1 大阪狭山市狭山NT地区再生連絡協議会規則、委員名簿
- ・資料2 狭山NT地区再生に向けた令和7年度の主な取組み状況
- ・資料3 狭山NT地区再生に向けた令和8年度の主な取組み予定
- ・資料4 狭山NT地区再生推進計画の取組項目調査票（令和7年度実績（見込み）・令和8年度予定）
- ・資料5 令和7年度狭山NTの未来を育むプロジェクト推進会議活動状況
- ・資料6 狭山NT地区の再生・活性化に関するアンケート結果と狭山NT地区再生推進計画更新の進め方（案）について
- ・資料7 狭山NT地区の再生・活性化に関するアンケート結果
- ・資料8 狭山NT地区再生推進計画の更新計画（案）
- ・資料9 旧近畿大学病院等建物撤去工事説明会配布資料
- ・資料10 旧近畿大学病院等建物撤去工事についてのFAQ
- ・資料11 旧近畿大学病院跡地における都市計画提案にかかる説明会配布資料
- ・資料12 府営住宅集約建替に関する現状と課題、今後の対応方策（案）

■議事要旨：

【議事】

- ①狭山ニュータウン地区再生にかかる令和7年度取組みの進捗状況及び令和8年度取組みの予定について
・資料2から4について事務局より説明、資料5について委員より説明
(主な質疑)

発言者	発言要旨
会長	狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議（以下、「推進会議」という。）により、8月8日にファミリーロード商店街で開催された「未来を育むふれあいまつり」について、想定以上に多くの方々の来場があったと委員から説明があった。魅力的なことを行えば、これだけ多くの住民の方々にも参加いただける、ということが確認できたと思う。こういった魅力的な取組みを日々実践していくことが、地域活性化につながると期待している。今後も住民の方々との協働で色々な取組みを推進していただければと思う。

【議事】

- ②「狭山ニュータウン地区の再生・活性化に関するアンケート」の結果及び「狭山ニュータウン地区再生推進計画」の更新（案）について
・資料6から8について事務局より説明
(主な質疑)

発言者	発言要旨
副会長	今回実施したアンケートについて、過去に同様のアンケートを実施したことはあるか。
事務局	狭山ニュータウン地区の再生・活性化に関するこれまでの取組みについてのアンケートは、今回が初めてである。過去には、近畿大学病院等移転跡地の土地利用ゾーニング案に関するアンケートや、狭山ニュータウン地区再生推進計画の策定時に、狭山ニュータウンの再生・活性化について、課題や今後必要となる取組みについてのアンケートを実施したことがある。
副会長	過去に実施したアンケートの中に今回と類似項目があれば、狭山ニュータウン地区再生推進計画策定から5年間の取組みの成果が見えてくると思う。効果検証として今後もアンケートを継続実施していただければ。また、シンボルプロジェクト2「市民協働・公民連携による公園・緑地の魅力向上活動の促進」について、これまでも取り組んできていただいているところであるが、これは二つの点で意義があると思う。一点目は、高齢者が健康維持を目的として公園や緑地を活用できるという点。二点目は、子育て世帯に公園や緑地の様々な魅力を感じてもらえる点である。今回のアンケート結果において、緑地や緑道の維持保全等を重要視している回答が多かった。イベント実施を通して参加者に公園や緑地の魅力を発見してもらうことや、子どもたちにとって魅力的な公園遊具を計画的に更新することは非常に重要なことだと考える。こういったことが子育て世帯の移住促進につながっていくと思うので、継続していただければと思う。また、一般的に、成熟したニュータウンでは、緑が豊かということが魅力である一方で、緑が生い茂り過ぎていることもある。今後も、狭山ニュータウン地区の植栽環境について注視していただき、場合によっては、間伐や除伐を行うなど、引き続き適正に管理されたい。
委員	アンケート結果について、地域活動等に関心がある方が主に回答いただいていると推測されるので、各種取組みの認知度等が高いのだと思う。こういった方々以外の意見も聞きたいので、例えばセンター地区で買い物に来られている方々に直接アンケートを行うなどしていただきたい。
会長	例えば、さやマルシェ等で来場者にボードアンケートを実施するなど、推進会議のメンバーも一緒になって取り組める部分もあると思う。

委員	歩道や公園遊具等を整備していただいているところであるが、緑道の整備についても併せて検討願いたい。
事務局	大野西山第1緑道については、近畿大学病院等移転跡地の整備と連動しながら、東大池公園を含め、地元の意見を聞きながら一体的に整備していきたいと考えている。
委員	公園遊具等を整備していただいたことで、多くの子どもが公園に集まっているし、自治会活動でも公園を活用することができており、活性化につながっているように思う。また、近畿大学病院等移転跡地周辺の通学路での防犯灯設置等の防犯対策をお願いする。
会長	他市では、工事用バリケードにアート作品を設置するなどしている事例もある。近畿大学等と連携しながら検討されたい。
委員	個人的に、魅力ある街では、生活環境と自然環境が共存していると思う。専門家等の意見を聞きながら、樹木等を伐採しすぎないように配慮願いたい。
事務局	現在、ナラ枯れ等の危険がある樹木について伐採を行っているところである。
副会長	樹木の伐採には、間伐等色々な手法がある。造園業者等とも相談しながら、生物多様性の視点を踏まえつつ、適正に管理されたい。
委員	推進会議での公園を活用した各種取り組みや市の公園整備を通じ、公園に多くの子どもたちが多く集まり、にぎわいが創出されていると感じる。また、かけっこなど、遊具以外で遊んでいる子どもたちも多く見られる。今後、広場等の整備についても検討していただければと思う。
委員	大野台第8公園の桜の木について、クビアカツヤカミキリの被害が見られる。市で定期的に安全点検を行い、適正に管理されたい。
事務局	現状、クビアカツヤカミキリに対し、効果的な対策がない。大阪府にも相談しながら、試行錯誤をしているところ。被害が確認された際には、造園業者等により周辺の樹木に対し安全点検を行っている。引き続き適正に管理していく。
委員	公園での活動にとどまらず、地域住民は、全て行政任せにするのではなく、「自分事」と捉えて各種取り組みを実践し、自分たちの住んでいる地域を守っていかないといけないと思う。子どもたちはコミュニティ・スクールや「地域未来の学習」等を通じ、こういった市民協働について学んでいる。大人に対しても、市民協働の意識啓発を行政と地域で連携しながら取り組んでいけたらと思う。
会長	アンケート結果でも推進会議の活動に対し、関心がないとの回答が多かった。一方、活動への参加意向が1割程度であったが、個人的には、2割程度の方に参加してもらえるのが一つの目標かなと思う。5人に1人が前向きに地域活動に取り組んでいただければ、市民それぞれが自分事として地域活動に取り組んでもらえるような雰囲気づくりができると思う。
委員	桜の木のクビアカツヤカミキリによる被害について、市に相談し、薬剤や防虫ネットを提供していただいたことがある。何事もそうであるが、市民と行政が協働で地域を守っていかなければならないと思う。狭山ニュータウンの活性化についても、市民協働で考えていかないといけない。市民もそういった意識をもっておかないといけないと思う。

【報告事項】

①近畿大学病院等移転跡地にかかる事業進捗状況について

- ・資料9から資料10について事務局より説明、資料11について関係者より説明

②府営狭山住宅集約建替にかかる事業進捗状況について

- ・資料12について事務局から説明

(主な質疑)

発言者	発言要旨
委員	近畿大学病院等移転跡地に新設予定の商業施設について、防災機能を兼ね備えたものになるよう検討されたい。

〇まとめ

発言者	発言要旨
古川市長	委員のみなさまにおかれては、それぞれの立場から貴重なご意見を多くいただき御礼申し上げます。本日の議論において、「自分事」という言葉が多くでてきた。狭山ニュータウンの再生・活性化に向けた課題等を、「他人事」ではなく、自分ならどういう動きができるか、と「自分事」として捉えていく意識が大事である。そういう意識を持った方々を今後増やしていく方策を検討していくことが、狭山ニュータウン再生・活性化に繋がっていくのだと感じる。推進会議のみなさまが、これまで各種取組みを行ってきた中、この度、新たに15名の方が推進会議のメンバーに加入されたことは、一つの好事例と言える。今まで活動に関わっていなかった方が、推進会議のみなさまの活動を見て、自分も一緒に活動したいと思うことができたからこそ、新規加入につながったのだと思う。このように、「自分事」として狭山ニュータウンの再生・活性化に取り組みたいと感じる人が着実に増えてきている。行政、市民のみなさま、事業者のみなさまがそれぞれの立場で、「自分事」として、狭山ニュータウンの再生・活性化に向けた取組みを実践していくことが大事であると感じた。引き続きご協力をお願い申し上げます。
会長	「未来を育むふれあいまつり」が、住民の方々との協働で開催されたように、こういった活動をさらに広げていただければと期待している。引き続きよろしくお願い申し上げます。